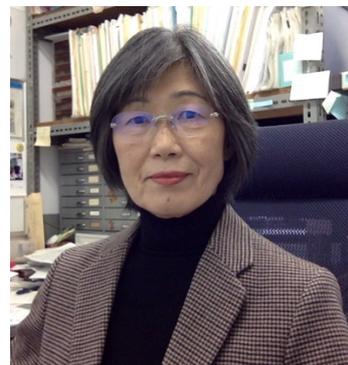


会長挨拶



日本体操学会第22回大会 3年ぶりの対面開催によせて –ご挨拶–

令和4年11月12日、13日に日本体育大学を会場として日本体操学会第22回大会が3年ぶりに対面で開催されることとなりました。日本体育大学での開催は第1回大会、第10回大会に続き3回目になります。

大会のテーマは「令和時代に求められる体操とは」です。第1日目は代々木第二体育館で日本体育大学体操部の演技発表会を見学し、第二日目は日本体育大学世田谷キャンパスで、長年全国ラジオ体操連盟の理事長を務められた青山俊彦先生の基調講演と各種研究発表、シンポジウムが行われます。伝統を重んじて変わらない体操の良さがあるとともに、新しい事に挑戦する体操の楽しさがあります。参加者の皆様が一緒に動いて学び、学んで動くことによって、本大会が体操を楽しむ場となることを願っております。

新型コロナ禍の影響はまだまだ続き、収束の方向に向かっているようですが、実際の所はまだまだ不透明な状況です。そのような中で、学会大会を久しぶりに対面で実施することになりました。学会大会をオンラインで開催するメリットも数多く有ることが分かってきましたが、実際に集って動いたりディスカッションしたりすると、改めて対面の良さを実感し、やはり対面には叶わないと思う場面が多々あります。本大会では参加者お一人お一人が感染予防対策にしっかりと取り組み、久々に対面で開催される学会大会を大いに満喫いたしましょう。

最後になりましたが、大会組織委員会、実行委員会をはじめ企画・運営に携わってこられたスタッフの皆様におかれましては、学会開催に向けて知恵を絞り、多大な時間と労力を費やして下さいました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。